



企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
多湖 哲也

すぐれた技術と想像力により、
活力とゆとりのある人間社会の実現に貢献する。

弊社は設立以来、半世紀以上に亘り一貫して希少金属、希土類を原料とした総合化合物メーカーとして、時代を担う先端的な産業に高品質の製品・材料を供給してまいりました。先端技術に欠かせないレアメタルをお届けして60年。ユーザー企業様からの高い評価の声を励みに、生産技術と品質管理技術を積み重ねてまいりました。今後も、再生エネルギー産業・通信インフラ産業等を支えるレアメタル化合物等の安定供給を担うことを中長期的な事業戦略の柱に据え、工場の環境整備や従業員の待遇改善への積極的な投資によって、ビジョンを達成していきたいと考えています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

グループ全体では2030年の売上高100億円達成に向け、次世代産業の発展とともに、年率14%程度の成長を目指す。具体的には以下を主要な目標とする。

- ①レアメタル等を原料とした無機化合物の供給能力の拡大
- ②国内製造・供給体制の構築による我が国の経済安全保障への貢献
- ③地域雇用や産業振興を通じた社会的責任の履行

課題

- ・ 拡大する需要に対応するため、有能な人材確保を含む供給体制の構築
- ・ 引き続き、得意先からの要求に応える高品質の製品を、納期通りに納品すること
- ・ 原材料の仕入リスクや最終品メーカーの生産調整に影響を受けづらいサプライチェーンの構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ 新工場の設立による増産体制の構築と新製品製造の開始
- ・ 大阪工場における設備投資による、今後需要拡大が見込まれる製品の増産体制の構築と生産性の向上
- ・ 国内に複数拠点をもつことやサプライチェーンの脆弱性を認識したBCPの作成
- ・ 大阪および秋田における雇用の創出とサプライチェーンを通じた経済波及効果の発揮

実施体制

- ・ 秋田県における新工場の稼働を円滑に実施するため、秋田工場の運営に特化した子会社を設立するとともに、弊社専務取締役を代表取締役役に据え、大阪工場との連携を図りながら増産体制を整える。
- ・ サプライチェーンマネジメントにより、川上・川下ともに協力関係を拡大し、仕入リスクや最終製品メーカーの生産調整リスクの低減を図る。

※本宣言は企業自身とその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです。

稀産金属株式会社

○本社所在地：大阪府大阪市西淀川区中島2-13-57

○事業概要：稀有金属化合物の開発、製造、販売等

○常時使用する従業員：70名

（グループ全体・2025年3月期）

○現在の売上高：58億円

（グループ全体・2025年3月期）

○法人番号：6120001049457

○Web：https://www.kisankinzoku.co.jp/

売上高100億円実現に向けた具体的措置

売上高100億円実現に向けた主力製品

弊社では、特に、再生エネルギー産業や次世代インフラ産業の急拡大を背景に、ヨウ化鉛や塩化ニッケル等の需要拡大を見込み、供給体制の再構築と成長投資を進めている。以下に、弊社製品と最終製品を例示する。

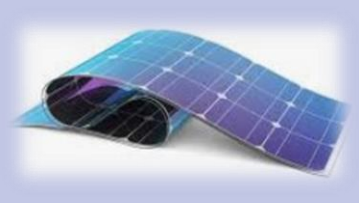
当社グループの主要製品

ヨウ化鉛



最終製品

ペロブスカイト型太陽電池



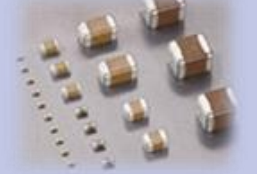
ペロブスカイト型太陽電池とは？

ペロブスカイト型太陽電池は、次世代太陽電池のひとつであり、従来のシリコン系太陽電池に比べて、ゆがみに強く、軽量化が可能であるので、建物の壁面や耐荷重が低い屋根など、従来の太陽電池では設置困難だった場所に設置できる。また塗布や印刷技術で量産できることから、低コスト化が期待できる。

塩化ニッケル



積層セラミックコンデンサ

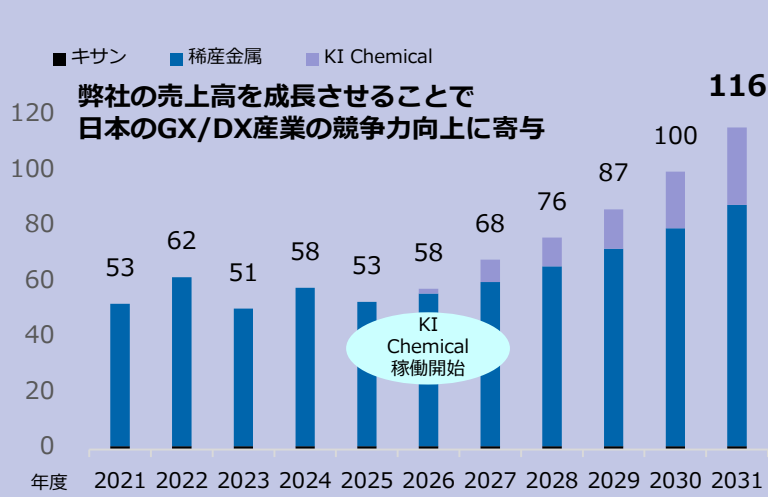


積層セラミックコンデンサ（MLCC）とは？

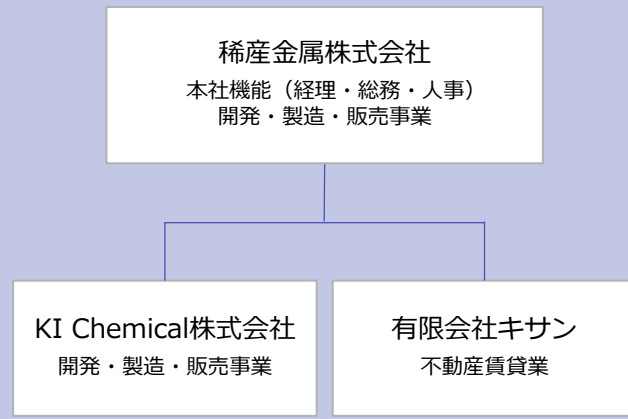
MLCCは、スマートフォンやパソコン、車載機器等、小型化・高性能化の求められる電子機器に不可欠な部品である。約10年周期で小型化・高性能化が進んでいるが、現在は米中摩擦によるSCの分断が危惧されるため、素材を含めた日本での安定供給体制の要請が強い製品である。

単位：億円

売上高100億円実現計画



グループ構成図



売上高100億円達成に向けて弊社グループは、**ヨウ化鉛及び塩化ニッケル**に注力し売上高を拡大させる。特にヨウ化鉛は国策として推し進められ、飛躍的な市場拡大が見込まれる**ペロブスカイト型太陽電池の素材**になるものであり、当社グループ売上高も**従前の成長とは格段に異なる飛躍的な成長**を見込んでいる。

また、当社グループは大手メーカーから求められる**高品質な製品の製造に**応え続けてきた。創業から66年を経て蓄積された信頼と実績、技術に自信を持っており、本補助事業を遂行する事で需要に見合う供給を可能とし、売上高を確実に伸長させる。

売上高100億円達成に向けた弊社グループの取組は、秋田や大阪での地域波及効果はもちろん、**GX/DXの進展に伴う再生エネルギー産業・通信インフラ産業等の関連素材の安定供給体制を国内で確立**するという点において、経済安全保障上の重要性もあり、我が国としても進めるべき計画であると自負している。

事業戦略実現に向けた具体施策として、**秋田県湯上市への新工場設立と大阪本社工場の生産体制の再編**により**増産体制を構築**する。

具体的には

- ・ 秋田工場を設立し、ヨウ化鉛及び硝酸セシウムの製造拠点を大阪工場から秋田工場に移し、量産体制を構築する。
- ・ 秋田工場の設立により、大阪工場の生産能力に余力が生じることに加え新たに設備を導入することにより塩化ニッケルの量産体制を構築する。